



「徐福公園」は、新宮駅に近い市内中心部に位置しており、江戸時代の初期に紀州藩主徳川頼宣が建立した徐福の墓があり、新宮市の文化財に指定されている。公園は、徐福という人物を伝承するとともに、観光名所づくり、国際親善などを目的に整備されたものである。

整備にあたっては、入り口に中国建築の門を設けて周囲を堀で囲み、公園全体は徐福の故国である中国の様式を取り入れたデザインで統一し、その時代背景は中國が統一された秦の時代が設定されており、園内には徐福の顕彰碑も建立されている。

公園では、市内や近郊の人々によつて朝市も開かれるなど、ふれあいの場としても活用されており、九月に徐福供養の盆踊り大会も行われている。

DATA・BOARD 50

- ①和歌山県新宮市新宮7178
- ②面積：2,700.91m²
- ③表門、裏門、外堀、管理棟、トイレ
- ④中国産御影石、木材ほか
- ⑤朝市、盆踊り大会

